

8月8~10日

自然の中で集団生活 少年自然塾2007



しながら活動しました。自然の中の集団生活は心と体を鍛える良い経験になりました。

吉 田町地域で子どもを育てる会が主催する「少年自然塾2007」が吉田グリーンシャワーの森で開催されました。今回で20回目となる自然塾には、吉田小学校、民谷分校、田井小学校の6年生の児童21人が参加。2泊3日の短い期間でしたが、テントを張ったり、自炊したりとみんなで協力しながら活動しました。自然の中の集団生活は心と体を鍛える良い経験になりました。



大 東町の夏を彩る七夕祭りが開催されました。午後7時に打ち上げられた花火を合図に七夕行列がスタート。大きな太鼓や鉦の音とともに「テンテコテンノ七夕サン」と威勢の良い掛け声が響き渡る中、提灯や七夕飾りで装飾されたたくさんの山車と短冊をつけた笹竹を持った子どもたちが町内を練り歩き、大勢の参加者でにぎわいました。

8月6日

430年の歴史 大東七夕祭り



7月31~8月10日

ユース・ワークキャンプ in雲南2007

世 界各国の青少年が集団生活を通じて交流を深めながら、国際感覚を磨き自己能力開発に努める「ユース・ワークキャンプ in雲南2007」が木次町湯村の楓之屋で開催されました。1日、受け入れ先の楓之屋振興会の主催により、同地区伝習館で歓迎会が行われ、斉藤文隆振興会会長が、「人々の温かさや里山の自然にあふれた環境の中で、青春を謳歌してほしい」とあいさつ。地域の食材を用いた食事が振る舞われ、参加者らはおいしそうな料理を囲み、夜が更けるまで談笑しました。7日には、地元の高齢者ら20人ほどと一緒に七夕祭りが行われ、各々が願い事を書いた短冊を笹に飾ったり、団子作りに挑戦したりと楽しいひと時を過ごしていました。今回のキャンプには、日本、フランス、アメリカ、韓国など8カ国から合計17人が参加。期間中、野菜の収穫・出荷などの農作業体験や市内史跡めぐり、神楽などの民族芸能鑑賞など、様々な活動を行いました。



8月8日

看護師をめざしています

公 立雲南総合病院で、看護師をめざす高校生が「1日看護体験」をしました。

実際の体験を通して、看護に対する理解を深め、進路の参考にしてみようという、看護師らでつくる「むつみ会」と同病院が、毎年夏休みのこの時期に実施しており、今年は大東高校、三刀屋高校、横田高校の1~3年の生徒21人が参加。白衣に着替え、施設内を見学した生徒たちは、数人ずつに分かれ、指導の看護師から血圧や脈の測り方、足浴などを教わりながら、真剣に実習に取り組んでいました。緊張気味だった生徒たちも徐々に慣れていき、患者さんたちに「体調はいかがですか」などと声をかける姿も見られました。



参加した生徒は「実際にやってみると大変だったが、改めてやりがいのある仕事だと分かった」、「患者さんに喜んでもらったことがうれしかった」などと感想を話していました。同病院の職員は、「今回の体験が地元の医療機関への就職のきっかけになれば」と話していました。

8月4日

クレイアート（埴輪）づくり

旧 加茂幼稚園でクレイアートづくりが行われました。

市内外からおおよそ20人が参加。思い思いに土を丸めたり、のびたりして、30点ほどのクレイアートができあがりました。今回の作品は、10月18日に火入れを行い、10月21日に開催される「銅鐸の響き加茂弥生まつり」で展示されます。焼き上がりから楽しみです！



8月14日

八重滝まつり

掛 合町入間の八重滝で八重滝まつりが開かれました。

安全祈願が行われた会場の八重滝駐車場には、地元住民らによる出店や綿菓子作りコーナーも設けられ、祭りに訪れた子どもたちのにぎやかな声に包まれていました。8つの滝の最も奥、二段構えで落下する八沙滝（上段）、八塩滝（下段）の下では、水遊びする親子連れの姿も見られました。

